

V 国際化に対応した産業の振興 及び基盤整備

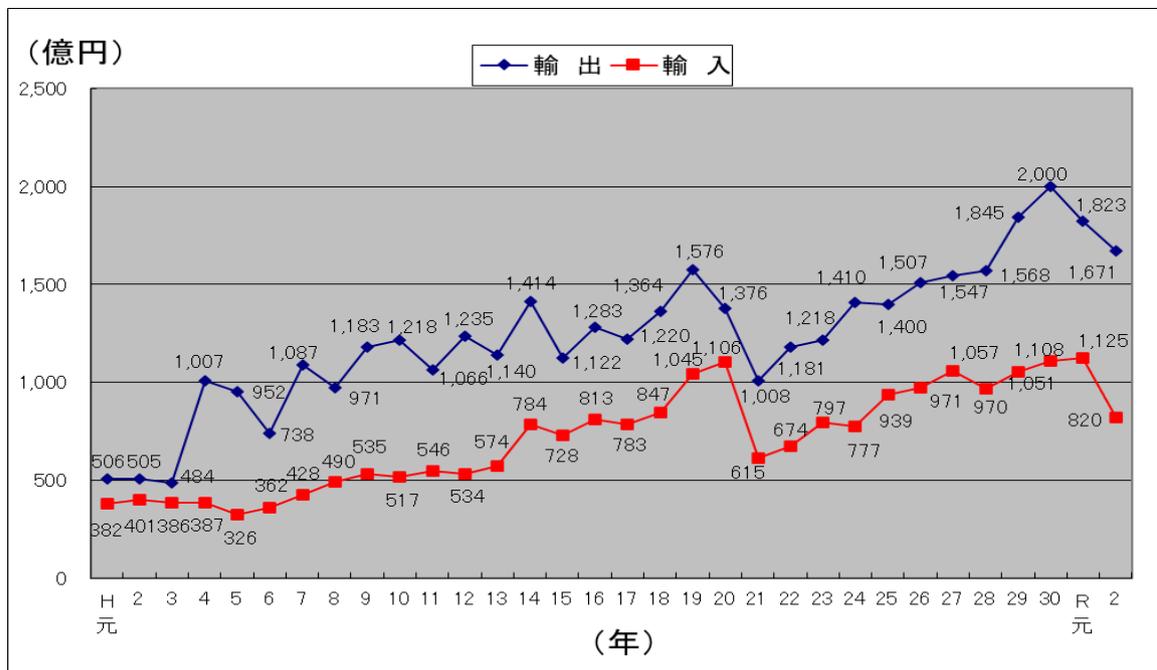
1	国際経済交流	
	(1) 宮崎県の輸出入の状況	8 1
	(2) 宮崎県海外交流駐在員	8 4
2	国際観光・コンベンション	
	(1) 国際観光	8 5
	(2) 国際コンベンション	8 5
	県内の外国人宿泊客数の推移（過去10年）	8 6
	最近の主な国際会議等一覧（過去5年）	8 7
3	交通基盤の整備	
	(1) 空港の国際化の現状	8 8
	(2) 港湾の国際化の現状	9 0
	外航商船入港船舶数の推移	9 0
	外貿貨物の取扱状況の推移	9 1
	国際海上コンテナ取扱数量の推移	9 1

1 国際経済交流

(1) 宮崎県の輸出入の状況

令和2年の本県の輸出入総額は2,490億8,937万円で、前年比15.6%(458億7,671万円)の減となりました。

このうち、輸出総額は1,671億2,824万円で、前年比8.4%(152億8,474万円)の減で、輸入総額は、819億6,113万円で、前年比27.2%(305億9,197万円)の減となりました。



(単位：千円、%)

区分 年	輸 出 額		輸 入 額		計	
	金 額	前 年 比	金 額	前 年 比	金 額	前 年 比
平成12	123,458,415	115.8	53,381,610	97.8	176,840,025	109.7
13	114,021,386	92.4	57,352,156	107.4	171,373,542	96.9
14	141,426,278	124.0	78,366,041	136.6	219,792,319	128.3
15	112,235,179	79.4	72,825,202	92.9	185,060,381	84.2
16	128,285,796	114.3	81,284,957	111.6	209,570,753	113.2
17	121,980,256	95.1	78,304,305	96.3	200,284,561	95.6
18	136,447,141	111.9	84,711,468	108.2	221,158,609	110.4
19	157,591,357	115.5	104,468,617	123.3	262,059,974	118.5
20	137,561,933	87.3	110,622,061	105.9	248,183,994	94.7
21	100,784,644	73.3	61,459,504	55.6	162,244,148	65.4
22	118,099,682	117.2	67,435,523	109.7	185,535,205	114.4
23	121,783,767	103.1	79,683,416	118.2	201,467,183	108.6
24	141,022,561	115.8	77,718,878	97.5	218,741,439	108.6
25	140,022,915	99.3	93,908,627	120.8	233,931,542	106.9
26	150,749,410	107.7	97,093,286	103.4	247,842,696	105.9
27	154,699,503	102.6	105,742,825	108.9	260,442,328	105.1
28	156,777,835	101.3	96,962,400	91.7	253,740,235	97.4
29	184,549,531	117.7	105,143,421	108.4	289,692,952	114.2
30	200,020,184	108.4	110,818,764	105.4	310,838,948	107.3
令和元	182,412,980	91.2	112,553,105	101.6	294,966,085	94.9
2	167,128,235	91.6	81,961,134	72.8	249,089,369	84.4

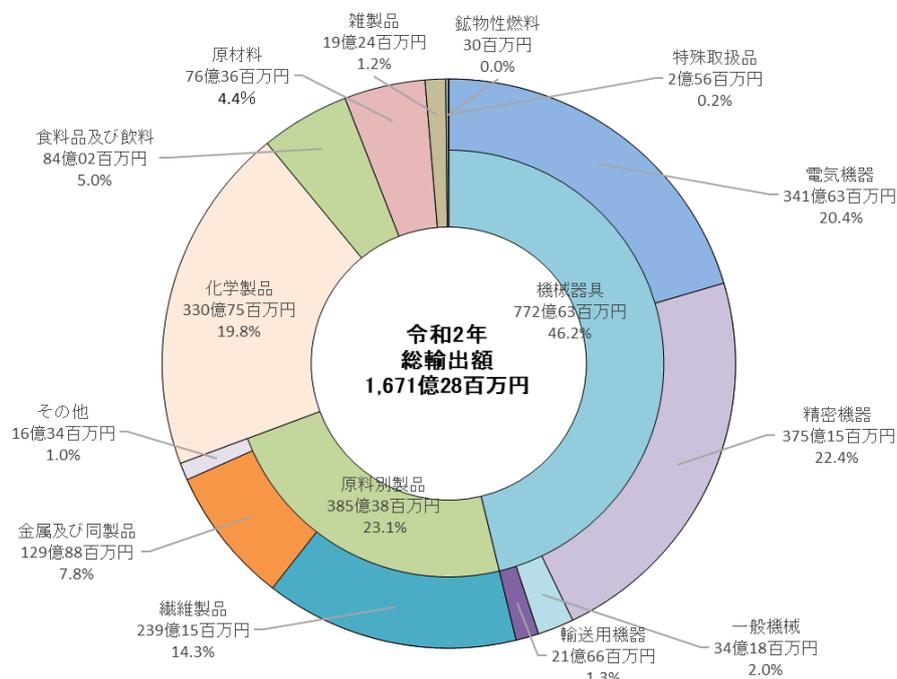
(「令和2年宮崎県の貿易」より)

① 品目別内訳

◎ 輸出額

輸出額を品目別にみると、機械器具が 772 億 63 百万円で最も多く、全体の 46.2%を占めています。

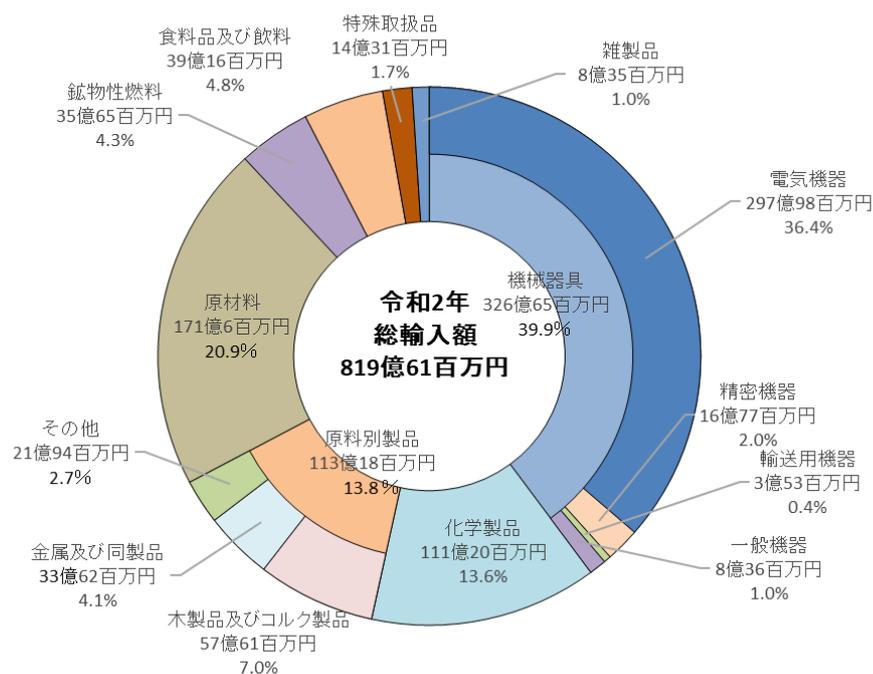
次いで、原料別製品が 385 億 38 百万円（構成比 23.1%）、化学製品が 330 億 75 百万円（同 19.8%）の順となっています。



◎ 輸入額

輸入額を品目別にみると、機械器具が 326 億 65 百万円で最も多く、全体の 39.9%を占めています。

次いで、原材料が 171 億 6 百万円（構成比 20.9%）、化学製品が 111 億 20 百万円（同 13.6%）の順となっています。

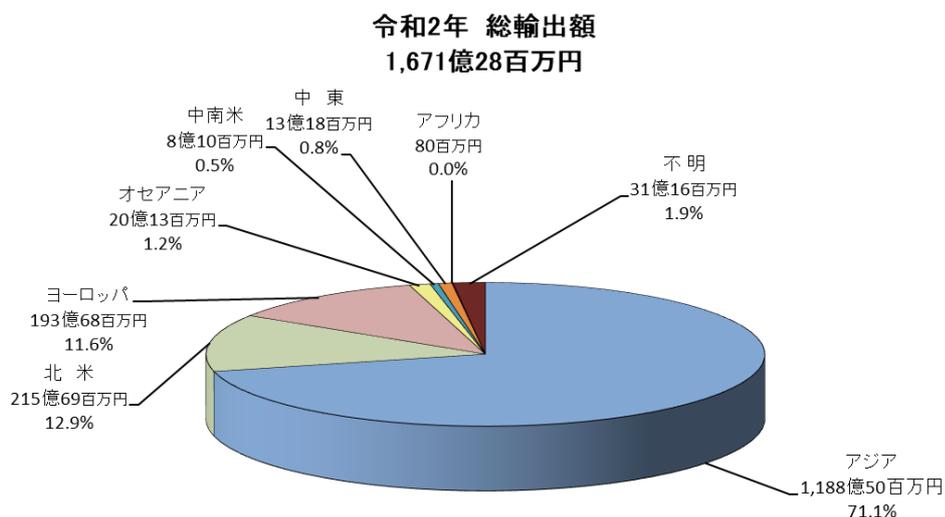


② 地域別内訳

◎ 輸出額

輸出額を仕向先の地域別にみると、アジアが1,188億50百万円で最も多く、全体の71.1%を占めています。次いで、北米が215億69百万円（構成比12.9%）、ヨーロッパが193億68百万円（同11.6%）の順となっています。

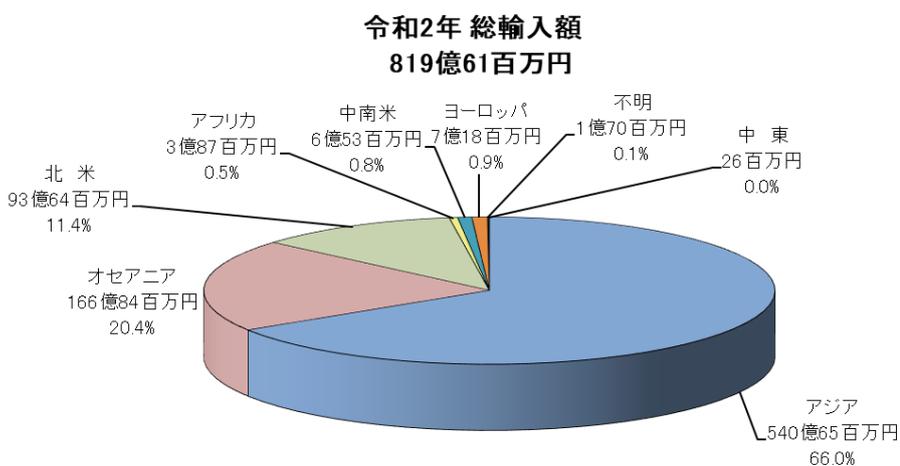
国・地域別では、中国が384億77百万円（構成比23.0%）、韓国が245億4百万円（同14.7%）、アメリカが202億30百万円（同12.1%）、台湾が101億34百万円（同6.1%）の順となっています。



◎ 輸入額

輸出額を仕向先の地域別にみると、アジアが540億65百万円で最も多く、全体の66.0%を占めています。次いで、オセアニアが166億84百万円（構成比20.4%）、北米が93億64百万円（同11.4%）の順となっています。

国・地域別では、タイが164億34百万円（構成比20.1%）、中国が159億30百万円（同19.4%）、アメリカが86億29百万円（同10.5%）、オーストラリアが67億99百万円（同8.3%）、の順となっています。



(2) 宮崎県海外交流駐在員

宮崎県では、アジアの経済の拠点である香港、中国（上海）及び台湾（台北）に海外交流駐在員を設置し、県内の皆さんに各地の社会・経済等に関する情報を提供するほか、県内企業の皆さんからの要請により、貿易や投資等に関する現地の企業、商品、マーケット等の調査や商用で現地に渡航される際の連絡調整等の支援を行います。

また、本県への観光客の誘致等の経済をはじめとする交流を促進するための業務を行います。

◎ 主な業務

- ① 現地及び周辺諸国の一般社会・経済情報の収集・提供
 - ② 県内企業の貿易を支援するための現地の企業や商品情報の収集・提供
 - ③ 県内企業が海外に投資や工場進出する際の各種情報の収集・提供
 - ④ 県内企業や団体が商用等で現地を訪問する際の連絡調整
 - ⑤ 本県観光のPRや現地で開催される宮崎県関係のイベントへの支援
 - ⑥ 県内企業界への現地の観光・MICE市場の情報収集・提供
 - ⑦ 現地マスコミ・旅行業関係者に対する県内観光施設・ホテルなどに関する情報提供（広報）活動
 - ⑧ 本県を訪れる観光客に対する旅行コンサルティング活動
- ※ 台湾駐在員は⑤～⑧のみ行います。

◎ ご利用にあたって

- ・海外交流駐在員は個別の商談や通訳・翻訳等には応じかねます。
- ・海外交流駐在員の利用は原則として無料ですが、依頼の内容により、現地での同行のための交通費等についてご負担いただく場合があります。
- ・海外交流駐在員の利用に関連して発生した損害等については、宮崎県及び委託先である（公社）宮崎県物産貿易振興センター、（公財）宮崎県観光協会は一切の責任を負いません。

◎ お問い合わせ先

● 香港駐在員

公益社団法人 宮崎県物産貿易振興センター

住 所：〒880-0803

宮崎市旭1丁目3-6 県庁7号館

電 話：0985-38-9351 FAX：0985-38-9354

ホームページURL：http://www.m-tokusan.or.jp

● 上海駐在員

宮崎県オールみやざき営業課

住 所：〒880-8501

宮崎市橘通東2-10-1 県庁8号館

電 話：0985-26-7113 FAX：0985-26-7327

● 台湾駐在員

公益財団法人 宮崎県観光協会

住 所：〒880-0811

宮崎市錦町1番10号 宮崎グリーンズフィア壱番館（KITENビル）3階

電 話：0985-26-6100 FAX：0985-26-6123

ホームページURL：http://www.kanko-miyazaki.jp

2 国際観光・コンベンション

(1) 国際観光

① 外国人観光客の入り込み状況

外国人観光客については、韓国、台湾、香港、中国の東アジア地域を中心に誘客対策を推進していますが、令和2年から世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大幅に減少しています。令和3年中に本県に宿泊した外国人の延宿泊客数は、前年比29%減の11,748人でした。

宿泊客の国籍別内訳としては、ドイツが1,428人で全体の12.2%、次いでアメリカ合衆国が1,330人で全体の11.3%となっています。 ※「県内の外国人宿泊客数の推移」(次頁)参照

② 国際観光の取組み

各国の経済状況や旅事情、本県に対する認知度等を踏まえながら、韓国や台湾、香港、中国などの東アジア、ASEAN、欧米豪地域観光客の誘致促進に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、誘客対策事業を一部縮小しつつも、将来のインバウンド回復を見据えた認知度向上対策を中心に観光客誘致の取組を行っています。

◎ 主な取組

- (a) SNSやWEBを活用したデジタルプロモーション
- (b) 航空会社や旅行エージェントとの共同PR
- (c) 海外事務所による現地での情報発信
- (d) メディアやインフルエンサーを活用した情報発信
- (e) 外国人観光客受入環境の整備

また、誘致宣伝には、九州観光推進機構や国の訪日プロモーション事業とも十分に連携を図り、効果的な事業の実施に努めています。

(2) 国際コンベンション

① コンベンション誘致の取組み

充実したコンベンション・リゾート施設や恵まれたアフターコンベンション環境を活かし、県と(公財)宮崎県観光協会が連携して、国内外のコンベンション誘致を図っています。

※「最近の主な国際会議等一覧」(次々頁)参照

② 国際会議開催実績(過去10年)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
開催件数	17	12	12	16	11	14	30	20	0	0
延参加者数	24,105	9,430	18,827	7,810	6,077	10,895	12,182	4,250	0	0

((公財)宮崎県観光協会及び宮崎県観光推進課調)

【連絡先】

宮崎県観光推進課
(公財)宮崎県観光協会

TEL (0985)26-7530
TEL (0985)26-6100

◎ 県内外国人の宿泊客数の推移（過去10年）

（単位：人泊）

年次 国籍 (出身地)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
北米	アメリカ合衆国	2,535	2,502	2,872	1,867	2,397	3,305	3,645	3,730	1,359	1,330
	カナダ	112	187	603	185	263	759	459	615	105	16
中南米		89	480	380	100	233	687	29	109	136	5
欧州	イギリス	256	413	204	344	486	1,347	917	3,121	337	839
	フランス	136	500	171	249	233	722	1,045	735	144	366
	ドイツ	288	499	157	402	535	544	856	760	159	1,428
	オランダ	50	11	269	19	37	190	176	135	11	1
	スイス	39	58	63	10	77	200	124	167	23	2
	旧ソビエト連邦	7	144	52	0	110	275	109	103	18	9
	その他	229	702	585	103	661	917	378	517	159	17
アジア	中国	1,849	2,523	3,749	5,452	8,442	12,143	9,560	13,489	2,135	364
	香港	3,898	6,599	10,965	30,999	51,785	57,645	54,583	48,730	6,202	14
	台湾	17,725	26,780	31,922	41,561	39,132	51,530	45,797	44,297	3,833	37
	韓国	87,952	64,633	65,167	65,570	61,097	72,468	98,113	76,025	13,256	186
	マレーシア	195	108	220	47	118	204	481	1,042	107	4
	シンガポール	407	624	823	1,501	1,041	1,195	1,935	2,461	168	13
	タイ	160	481	709	422	954	1,245	965	1,504	162	32
	インド	123	50	330	23	126	130	270	132	52	48
	フィリピン	119	42	116	64	74	110	196	267	31	86
	インドネシア	58	33	78	3	136	249	467	281	196	37
その他	123	199	241	278	673	336	1,383	1,860	483	498	
オセアニア	オーストラリア	130	255	395	169	520	739	733	1,191	116	16
	その他	7	42	19	10	45	436	181	168	38	12
アフリカ		11	6	0	1	79	216	40	22	58	1
不明		12,089	14,319	20,889	32,557	20,132	18,322	52,073	47,921	11,701	6,387
計		128,587	122,190	140,979	181,936	189,386	225,914	274,515	249,382	40,989	11,748

（注1）宮崎県内各市町村調べ

（注2）平成24年は359店舗、平成25年は383店舗、平成26年は373店舗、平成27年は405店舗、平成28年は390店舗、平成29年は357店舗、平成30年は378店舗、令和元年は370店舗、令和2年は402店舗、令和3年は380店舗における延べ宿泊者数。

◎ 最近の主な国際会議等一覧（過去5年）

日本を含め2国以上から構成され、延べ20名以上の参加があった国際会議、セミナー、シンポジウム等（抜粋）

年度	月	会議の名称	開催機関又は事務局	参加者数 (約名)
H28	9	CSE2016(Carbon Saves the Earth 2016)	九州大学先端物質化学研究所	86
	9	bifi PV workshop	宮崎大学工学部	244
	10	YABEC2016	九州大学大学院工学研究院	218
	11	さくらサイエンスプラン	宮崎大学大学院農学工学総合研究科	21
	11	IWHV2016国際シンポジウム	宮崎大学工学部	109
	11	日本水稲品質・食味研究会	九州大学大学院農学研究院	58
	12	ISChE2016	九州大学大学院 工学研究院	270
	1	ICAROB2017	宮崎大学工学部	176
H29	5	The 8th JSH International Symposium 2017 in Miyazaki	一般社団法人日本血液学会	508
	7	The 13th International Conference	宮崎大学国際連携課	495
	8	The 2nd Asia Superconductivity Summer School 2017	九州大学 システム情報科学研究院	237
	10	「The 10th Taiwan-Japan Bilateral Symposium」	九州大学カーボンニュートラルエネルギー	109
	10	さくらバダウシンポジウム2017	宮崎大学国際連携センター	426
	11	平成29年度繊維学会秋季研究発表会	九州大学工学研究院	804
	11	2017年国際溶媒抽出学会	九州大学大学院工学研究院	1400
	11	KOREA-JAPAN University League WorkShop(Top-PV2017)	宮崎大学工学教育研究部	128
	11	第4回日本カナダ錯体化学ジョイントシンポジウム	九州大学理学研究院	101
12	第2回アジア応用物理学会議(Asian-APC)	九州大学 システム情報科学院	153	
H30	5	11th Edition of the Language Resources and Evaluation Conference	ELRA(European Language Resources Association)	4348
	5	Big Data Analysis and Deep Learning Applications (ICBDL2018)	宮崎大学工学教育研究部	162
	5	The Power of Faraday Tomography	九州大学理学研究院	325
	6	第5回宮崎大学国際砒素シンポジウム	宮崎大学工学部	181
	6	国際食料セミナー・IFARE	九州大学大学院農学研究院	168
	8	第2回台湾屏東科技大学・宮崎大学合同シンポジウム	宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター	103
	10	宮崎公立大学「インドネシアと日本の事例から英語教育について考える」	宮崎公立大学国際シンポジウム実行委員会	65
	10	IEEE SMC2018	宮崎大学工学部	2904
	1	The Thirteen Korea-Japan Workshop on Science and Technology in Ironmaking and Steelmaking	東北大学大学院工学研究科	116
	3	ECl coference series: Nonstoichiometric Compounds V11	Engineering Conferences International(米国)	301
R1	7	APAC-SILICIDE2019	九州工業大学情報工学研究院	376
	8	THE 11 circum-Pan-Pacific Symposium on High Energy Spin Physics	宮崎大学工学教育研究部	183
	10	2019秋 モリダユニバーシティ	モリダジャパン合同会社	804
	11	The 38th JSST AnnualInternational Conference on Simulation Technology	宮崎大学工学教育研究部	599
	11	SAP Digital Business Services Executive Council 2019	SAPジャパン株式会社	174
	1	The 16th Japan-Korea Joint Seminar on Ocean Science	九州大学応用力学研究所	135
	2	AMED-CREST恒常性領域&適応・修復領域 合同国際シンポジウム	宮崎大学医学部内科学講座	352
R2	新型コロナウイルスの影響により開催実績無し			
R3	新型コロナウイルスの影響により開催実績無し			

3 交通基盤の整備

(1) 空港の国際化の現状

宮崎空港は、世界に開かれた本県の空の玄関口として、多くの県民が直接海外へ旅立つとともに、海外から多数の観光客が本県を訪れるなど、本県の地域間交流の基盤として重要な役割を果たしています。

県では、本県の国際化の進展、諸産業の振興及び地域振興を図るため、市町村や民間団体・企業等が参加する「宮崎空港振興協議会」を設立し、国際定期便の利用促進や新規路線の誘致、海外政府機関、航空会社等への要望活動などに取り組んでいます。

① 宮崎空港の国際化のあゆみ

- ・昭和63年 3月 初めての国際チャーター便（宮崎→香港）運航
- ・平成11年 2月 国際線専用施設供用開始
- ・平成13年 4月 宮崎～ソウル国際定期便（アジアナ航空）就航
- ・平成14年 4月 税関、検疫の空港出張所開設
- ・平成20年 6月 宮崎～台北国際定期便（エバー航空）就航
- ・平成21年10月 エバー航空運休
- ・平成22年 1月 宮崎～台北国際定期便（チャイナエアライン）就航
- ・平成27年 3月 宮崎～香港国際定期便（香港航空）就航
- ・平成29年10月 国際線専用PBB（旅客搭乗橋）の新設
- ・平成29年12月 LCCによる宮崎～ソウル国際定期便（イースター航空）就航
- ・平成30年 3月 国際線専用出発保安検査場及びボディスキャナーの設置
- ・平成30年10月 香港航空運休

② 国際定期便の利用状況

(ア) ソウル線 ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年3月～運休中

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
提供座席数(席)	51,780	55,974	60,096	57,866	61,096	61,712	81,832	132,498	89,806	0	0
乗客数(人)	35,515	35,504	36,596	39,642	42,461	42,950	57,812	91,339	50,369	0	0
搭乗率	68.60%	63.40%	60.90%	68.50%	69.50%	69.60%	70.60%	68.90%	56.10%	0.00%	0.00%

※ アシアナ航空：平成13年4月24日就航、週3便（水・金・日）運航

※ イースター航空：平成29年12月21日就航、週3便（火・木・土）運航

(イ) 台北線 ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年2月～運休中

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
提供座席数(席)	31,576	31,600	33,180	49,900	48,506	40,818	33,510	46,454	29,256	0	0
乗客数(人)	21,350	20,493	24,650	34,761	33,604	26,482	26,897	32,882	20,981	0	0
搭乗率	67.60%	64.90%	74.30%	69.70%	69.30%	64.90%	80.30%	70.80%	71.70%	0.00%	0.00%

※ エバー航空：平成20年6月1日就航、平成21年10月1日～運休

※ チャイナエアライン：平成22年1月21日就航、週2便（水・土）運航
 平成26年3月31日～週3便（月・水・土）増便
 平成28年10月31日～週2便（水・土）に減便
 平成30年3月6日～週3便（火・水・土）に増便
 平成31年3月30日～週2便（水・土）に減便

(ウ) 香港線

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
提供座席数(席)	304	36,496	36,192	36,148	20,880
乗客数(人)	200	23,885	23,794	26,216	15,975
搭乗率	65.80%	65.40%	65.70%	72.50%	76.50%

※ 香港航空：平成27年3月28日就航、週2便（水・土）運航、平成30年10月28日～運休

③ 宮崎空港発着の国際定期便を利用する場合の補助制度（令和4年度） ※令和4年9月現在

※ いずれの事業も、令和4年度の事業であり、翌年度以降の継続は未定です。

(7) 国際線グループ交流促進事業

県内外のグループが海外で交流活動を行う場合、グループの人数に応じて経費の一部を支援。

グループの 人数	県内グループ		県外グループ	
	片道利用	往復利用	片道利用	往復利用
4名～8名	10,000円	20,000円	6,000円	12,000円
9名～13名	20,000円	40,000円	12,000円	24,000円
14名～18名	30,000円	60,000円	18,000円	36,000円
19名～23名	40,000円	80,000円	24,000円	48,000円
24名～28名	50,000円	100,000円	30,000円	60,000円
29名～33名	60,000円	120,000円	36,000円	72,000円
34名～38名	70,000円	140,000円	42,000円	84,000円
39名以上	80,000円	160,000円	48,000円	96,000円

※ 県内グループとは、以下のいずれかの要件を満たす場合とし、それ以外のグループは県外グループとする。

- ・ グループの所在地（グループの事務所等の所在地又は代表者の居住地）が宮崎県内にあること。
- ・ グループの構成員の半数以上の居住地が宮崎県内にあること。

(4) 宮崎空港国際線パスポート取得支援事業

新規にパスポートを取得（更新を含む）した県民の若者を対象に、5年用パスポート取得費用分の全額を支援。

対象者	支援区分	支援額
<ul style="list-style-type: none"> ・ 18歳未満の方 ・ 18歳以上26歳未満の学生 	12歳未満	6,000円
	12歳以上	11,000円

(ウ) グローバル人材育成海外教育研修等交流事業

県内の学校などが、修学旅行等の交流事業を実施する場合、児童・生徒の人数に応じて経費の一部を支援。

基本分	児童・生徒50名まで1人あたり1万円、50名を超える分については、1人あたり5千円。上限120万円。
(加算1)	往復利用する場合、1人2千円加算。上限20万円。
(加算2)	ソウル・台北で乗り継ぎ便（同一航空会社に限る。）を利用する場合、1人2千円加算。上限20万円。

(2) 港湾の国際化の現状

港湾は、日本と世界を結ぶ物流の結節点として、産業の振興と国際経済交流に非常に大きな役割を果たしています。

本県では、細島港、油津港が貿易を行うことができる港に指定されています。

① 細島港

細島港は、古くから東九州の海上交通の要衝として重要な役割を果たしてきており、県内随一の工業地帯である日向延岡地区を背後圏とする本県の外貿拠点として発展してきました。

平成5年には、韓国の釜山港との間に外貿コンテナ定期航路が開設され、現在では、釜山に週2便をはじめ、中国に週1便、台湾に1便、神戸経由のフィーダー航路が週1便開設されています。

令和3年の外航商船船舶入港数は、350隻にのぼり、鉱産品や化学工業品など、輸出227千トン、輸入1,491千トンの外貿貨物が取り扱われています。

細島港は、外貿には欠かせない税関・出入国管理・検疫・植物防疫・動物検疫の機能（C I Q機能）を備えるとともに、外航商船の大型化などに対応した水深13m岸壁を含む大型外貿埠頭が整備されています。

② 油津港

油津港は、古くから天然の良港として知られており、飼肥杉の移出や、王子製紙日南工場の原材料及び製品の輸出入など、県南の物流拠点としての役割を果たしています。

現在、神戸経由の外貿コンテナ定期航路が週1便開設されています。

令和3年の外航商船船舶入港数は46隻で、林産品など輸出52千トン、輸入588千トンの外貿貨物が取り扱われています。

油津港は、税関・出入国管理に加え、平成9年から無線検疫対象港に、平成12年4月1日から植物検疫の指定港に指定され、C I Q機能が向上するとともに、物流機能拡充に対応した水深12m岸壁を含む東地区等の整備がされています。

また、平成26年度に貨物船対応の水深12m岸壁の係留施設を改良し、16万トン級の大型クルーズ船の入港が可能となり、令和元年には、7隻の海外クルーズ船が入港しました。さらに、平成29年度までに、22万トン級大型クルーズ船対応の係留施設整備が完了しました。

※ 港湾にかかるC I Q関係官公署

港湾名	官 公 署 名	所 在 地	連 絡 先
細島港	門司税関細島税関支署(財務省)	日向市竹島町1 細島港湾合同庁舎	0982-56-1253
	福岡出入国在留管理局宮崎出張所(法務省)	宮崎市別府町1-1 宮崎法務総合庁舎2階	0985-31-3580
	福岡検疫所細島出張所(厚生労働省)	日向市竹島町1 細島港湾合同庁舎	0985-63-4177
	門司植物防疫所鹿児島支所細島出張所(農林水産省)	日向市竹島町1 細島港湾合同庁舎	0982-53-1339
	動物検疫所門司支所鹿児島空港出張所(農林水産省)	鹿児島県霧島市隼人町嘉例川字請口 4498-2	0995-43-9061
油津港	門司税関細島税関支署油津出張所(財務省)	日南市油津4-12-1 油津港湾合同庁舎	0987-22-2879
	福岡出入国在留管理局宮崎出張所(法務省)	宮崎市別府町1-1 宮崎法務総合庁舎2階	0985-31-3580
	福岡検疫所志布志出張所(厚生労働省)	鹿児島県志布志市志布志町志布志3259 志布志港湾合同庁舎	099-222-1473
	門司植物防疫所鹿児島支所志布志出張所(農林水産省)	〃	099-472-2491

◎ 外航商船入港船舶数の推移

(単位：隻、%)

港 湾 名	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
細島港	346	99.4	348	100.6	336	96.6	391	116.4	350	89.5
油津港	101	100	42	41.6	40	95.2	37	92.5	46	124.3
合 計	447	99.6	390	87.2	376	96.4	428	113.8	396	92.5

(宮崎県港湾課調)

◎ 外貨貨物の取扱状況の推移

(単位：千トン)

港	区 分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
細 島 港	輸 出	177	185	188	252	227
	農水産品	0	1	2	4	3
	林産品	68	77	78	115	123
	鉱産品	0	1	-	4	-
	金属機械工業品	6	5	21	46	20
	化学工業品	66	69	57	60	58
	軽工業品	28	27	24	18	21
	雑工業品	2	3	3	1	1
	特殊品	7	3	3	5	1
	輸 入	1,529	1,546	1,500	1,459	1,491
	農水産品	40	39	31	28	28
	林産品	2	2	4	6	2
	鉱産品	1,385	1,399	1,359	1,371	1,394
	金属機械工業品	5	4	9	1	4
	化学工業品	28	25	26	21	19
軽工業品	29	44	56	22	29	
雑工業品	0	1	2	3	2	
特殊品	38	30	14	6	13	
計		1,706	1,731	1,688	1,711	1,718
油 津 港	輸 出	20	16	24	37	52
	林産品	8	16	23	37	50
	鉱産品	0	-	-	-	-
	金属機械工業品	0	-	-	-	-
	化学工業品	0	-	-	-	-
	軽工業品	10	-	1	-	2
	雑工業品	0	-	-	-	-
	特殊品	1	-	-	-	-
	輸 入	645	614	572	425	588
	農水産品	-	-	-	-	-
	林産品	630	614	572	425	588
	鉱産品	0	-	-	-	-
	金属機械工業品	9	-	-	-	-
	化学工業品	2	-	-	-	-
	軽工業品	3	-	-	-	-
雑工業品	0	-	-	-	-	
特殊品	-	-	-	-	-	
計		664	629	596	461	640

※端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計と一致しない

(宮崎県港湾課調)

◎ 国際海上コンテナ取扱数量の推移

(単位：TEU、%)

港名	区分	平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比				
細 島 港	輸 出	12,792	93.5	12,465	97.4	12,326	98.9	12,758	103.5	11,226	88.0
	輸 入	9,240	118.4	8,679	93.9	9,085	104.7	7,582	83.5	7,049	93.0
	合 計	22,032	102.5	21,144	96.0	21,411	101.3	20,340	95.0	18,275	89.8
油 津 港	輸 出	1,117	84.3	544	48.7	436	80.1	567	130.0	1,872	330.2
	輸 入	1,468	107.8	299	20.4	309	103.3	210	68.0	262	124.8
	合 計	2,585	96.2	836	32.3	745	89.1	777	104.3	2,134	274.6

(注1) 空コンテナを除く

(注2) 神戸経由の内航フィーダーを含む

(注3) TEU=Twenty-foot Equivalent Unit 20フィート コンテナ換算のコンテナ取扱個数の単位

(注4) 令和3年分は速報値

(宮崎県港湾課調)

【連絡先】 宮崎県港湾課

TEL (0985)26-7189

